

主な内容

特集 1~2
ジェンダー平等の実現

トピックス 3~4
●高齢者用肺炎球菌予防接種のお知らせ
●ゴールデンウィーク期間中の救急医療体制 など

すこやかハート北九州 5
情報ステーション 6~11
*最終ページは人口データと若松区の情報

無意識の思い込みを変えていく

特集 ジェンダー平等の実現

ジェンダーとは、生物学的な「男・女」ではなく社会的・文化的につくられた性別のこと。皆さんも「男は結婚したら家族を養わないといけない」「女に理系の進路(学校・職業)は向いていない」などという固定的な思い込みや言葉を日常生活の中で感じたり、聞いたりしたことはありませんか。

「男だから」「女だから」という考えにとらわれると男性も女性も生きづらさを感じ、誰もが“自分”らしく活躍できる社会は実現できません。無意識の思い込みに気づき、変えていくことで、ジェンダーにしばられることのない“個”を認め合う社会をつくることができます。



市内企業では、働くすべての人が偏見などのストレスを感じることなく気持ちよく働ける職場づくりに取り組んでいます。

画像提供:株式会社安川電機

いつの間にか刷り込まれている男女に対する無意識の思い込み、これってどう感じますか？

- 男性は結婚して家庭をもって一人前だ
- デートや食事のお金は男性が負担すべきだ
- 組織のリーダーは男性の方が向いている
- 男性は人前で泣くべきではない



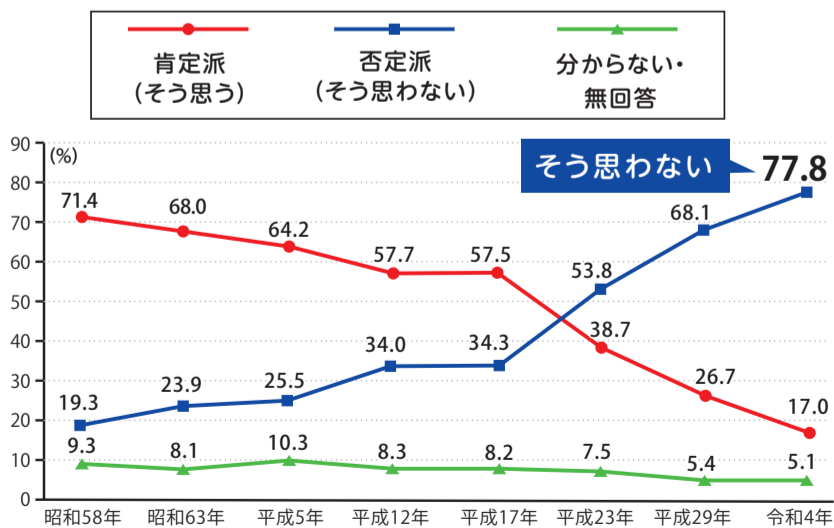
- 共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ
- 育児時間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない
- 女性は感情的になりやすい
- 女性は、か弱い存在なので守られなければならない



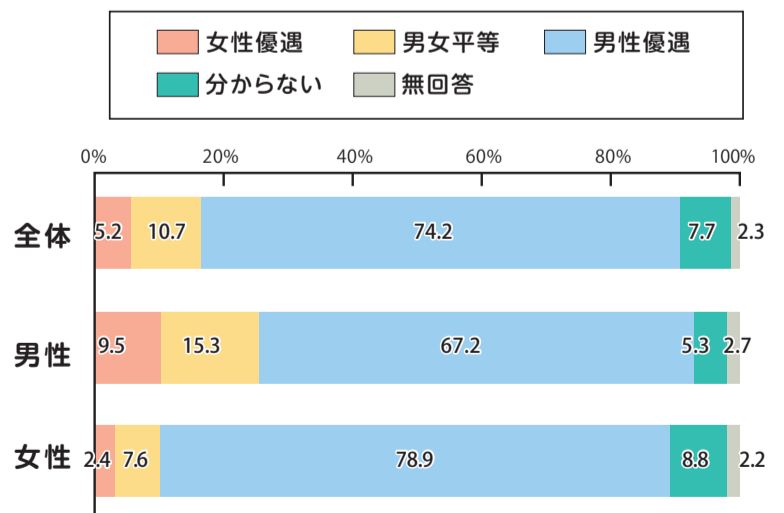
参考:令和4年度 性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究(内閣府男女共同参画局)

北九州市が実施した「男女共同参画社会に関する調査」によると、性別による固定的な役割分担の意識は薄れてきているものの、実社会では男女の平等が実感できていないという結果が出ています。

Q あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか？



Q あなたは「社会全体で男女は平等」になっていると思いますか？



参考:令和4年度「北九州市の男女共同参画社会に関する調査報告書」

特集は2ページに続きます